

# SPiRiT OF CHiCK COREA BAND



音楽界のレジェンド スティーヴ・ガッドとリチャード・ストルツマン。  
そして、世界的マリimba奏者として活躍の幅を広げる  
ミカ・ストルツマンが久しぶりに熊本に集結。  
バンドメンバーには、チックを敬愛する塩谷哲と井上陽介も参加。  
名曲「スペイン」をはじめ、ミカのために捧げられた曲など、  
チックのスピリッツを紡ぐ。

## チック・コリア Piano

1960年代初めのデビュー以来、フュージョンやクラシックのミュージシャンとも演奏活動を行うなどジャンルの垣根を越えて活動したジャズ・ピアニスト、作曲家。音楽界に多大な功績を残し、米音楽界最高の栄誉「グラミー賞」を25回受賞した。2021年2月9日、79歳にて逝去。日本との縁も深く、何度も来日公演を実施。上原ひろみ、小曽根真など日本人アーティストと共演したほか、2020年8月にはNHKの特別番組に出演、福島県の高校吹奏楽部の若者とオンラインによるワークショップを行った。



©Lisa-Marie Mazzucco

## Steve Gadd | スティーヴ・ガッド Drums

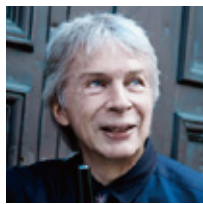
スティーヴ・ガッドは1945年、米国ニューヨーク州ロチェスター生まれ。マンハッタン音楽学校で学んだ後、イーストマン音楽院を卒業した。その後、チャック・マンジョーネと共演して頭角を現し、3年間の軍隊生活を経て、1971年ニューヨークに移り、スタジオ・ミュージシャンとして活動をはじめた。その素晴らしい才能は瞬間に注目を集め、ジャンルを超えて、チック・コリア、カーリー・サイモン、フィービー・スノー、アレサ・フランクリン、アル・ディ・メオラ、スタンリー・クラーク、リック・リー、ジョーンズ、トム・スコット、フランク・シナトラ、スタッフなどと共演。ひっぱりだこの人気ドラマーとなる。自身のバンド「Gadd Gang」を結成。レコーディングやツアーを行いながら、ポール・サイモンや、エリック・クラプトン他数々のグラミー賞受賞アーティストのレコーディングやツアーにも参加。近年ではジェームス・テイラーのバンドのメンバーとしても活動。現在も第一線で精力的に活躍を続けている。



©Lisa-Marie Mazzucco

## Mika Stoltzman | ミカ・ストルツマン Marimba

2008年熊本県天草市からニューヨークに移住してNYを拠点に演奏活動を展開している。(現在はポストン在住。)2000年トロント大学上級演奏学科修了後、東京とNYカーネギーホールでリサイタル開催して演奏家デビュー。カーネギーホールでのリサイタルは10回に上るほか、全米国際打楽器コンベンション(PASIC)出演などマリimba奏者として現在までに世界22カ国66都市で公演を行っている。2001年S.ライヒの「東京/バーモント・カウンタートポイント」を編曲演奏してライヒ本人のCD『Triple Quartet』(ノンサッチ)に収録されブージー&ホークスから楽譜出版されている。これまでに10枚のCDアルバムとライブDVDをリリース。2017年に録音したバッハ/シャコンヌの編曲はカイザーミュージックより楽譜出版されている。ジャズの方では、スティーヴ・ガッドやエディ・ゴメス等とのプロジェクトMIKARIMBAでブルーノート(NY&東京)などの日米の主要ジャズクラブ、カイロ、ロックポート等のジャズフェスティバルにも出演。協奏曲ソリストとしては九州交響楽団、関西フィル、ソノバトヘイ交響楽団、ポーランド国立室内管弦楽団と協演。又最近ではメキシコ・ハラバ交響楽団とイタリア・マッペリ室内管弦楽団とチック・コリア作曲「協奏曲第1番」を世界初演。2014年からはリチャード・ストルツマンとのデュオを本格的に開始し、オースティン、ロックポート、香港、メキシコ、イタリア・クレモナの音楽祭など多数出演。クラシックとジャズを縦横無尽に操る、ニュー・ジャンルのマリimba奏者として益々幅広い演奏活動を展開している。  
オフィシャル Website <https://mikarimba-stoltzman.com>



©Lisa-Marie Mazzucco

## Richard Stoltzman | リチャード・ストルツマン Clarinet

数多くのオーケストラとの共演を重ねるソリストとして、魅惑的なリサイタリストとして、革新的なジャズ奏者として、また、多作なレコーディング・アーティストとして、2度のグラミー賞受賞の栄誉に輝き、様々なジャンルの批評家、聴衆から圧倒的な支持を受け続けている。クラリネットという楽器に対して独自のアプローチをもち、彼以前の誰も予言し得なかったクラリネットの可能性を拓いてみせ、そのことによって国際的な名声を獲得した。ハリウッドボウルとカーネギー・ホールでクラリネット・リサイタルを行った最初のアーティストであり、エヴリー・フィッシャー賞を受賞した最初の管楽器奏者でもある。ゲイリー・バートン、チック・コリア、ジュディ・コリンズ、エディ・ゴメス、ウディ・ハーマン、キース・ジャレット、メル・トーム、そしてスパイロ・ジャイラの創設者ジェレミー・ウォールら、ジャズ・ポップ界の錚々たる面々と共演し、レコーディングを行ってきた。新作にも熱心に取り組んでおり、スティーヴ・ライヒ、武満徹、スティーヴン・ハートキ、エイノユハニ・ラウタバーラ等による優れたクラリネット作品の初演を行っている。ティスコグラフィは60を優に超えており、リチャード・グードとの共演で録音したブラームスのソナタ、さらにコーヨー・マとエマニュエル・アックスと行ったモーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスの三重奏曲集で、2度グラミー賞を受賞している。75歳を記念して、「コンプリート RCA アルバム・コレクション」(CD40枚組)が2017年に発売された。オフィシャル Website [www.richardstoltzman.com](http://www.richardstoltzman.com)



## Satoru Shionoya | 塩谷 哲 Piano

東京藝術大学作曲科出身。在学中より10年に渡りオルケスタ・デ・ラ・ルスらのピアニストとして活動(93年国連平和賞受賞、95年米グラミー賞ノミネート)、並行してソロアーティストとして現在まで12枚のオリジナルアルバムを発表する。自身のグループの他、小曽根真(p)との共演、佐藤竹善(vo)との「SALT & SUGAR」や上妻宏光(三味線)との「AGA-SHIO」の活動、リチャード・ストルツマン(cia)、渡辺貞夫(sax)、村治佳織(g)、古澤巖(vln)ほか多数のコレボレート、Bunkamura オーチャードホール主催のコンサートシリーズ「COOL CLASSICS」(99年~01年)のプロデュース、オーケストラとの共演(2017年大阪交響楽団、2017.18年NHK交響楽団)等、活動のジャンル・形態は多岐に渡る。近年は絢香のサウンドプロデュースに参加。メディアではNHK「名曲アルバム」にオーケストラアレンジを提供する他、NHK Eテレ『趣味Do楽「塩谷哲のリズムでピアノ」』(2014年)、フジテレビ系ドラマ「無痛-診える眼-」(2015年)、NHK Eテレ音楽バズバラエティ番組「コレナンデ商会」(2016年~2022年3月)の音楽を担当。現在、国立音楽大学ジャズ専修准教授。(敬称略) <https://www.earthbeat-salt.com>



## Yosuke Inoue | 井上 陽介 Bass

1964年7月16日、大阪生まれ。大阪音楽大学作曲科卒。91年よりニューヨークを拠点に活動。97年には初リーダーアルバム「スピークアップ」を発表。在米中、ドン・フリードマン、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでのレコーディング、ライブハウス、ヨーロッパツアーでの演奏など国際的に活動。2004年には活動の拠点を日本に移す。2009年、小曽根真、渡辺香津美などをゲストに迎え録音した6枚目のリーダー作となる「LIFE」をリリース。2021年9月に武本和太(P) 濱田省吾(Ds)とレコーディングした10枚目のトリオ第二弾「Next Step」をリリース。なお2007年度から3年連続スイングジャーナルの人気投票では1位など常に上位にランクされる。現在、自己のグループの他、塩谷哲、大西順子、渡辺香津美、のレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに参加し日本のみならず海外でも精力的に活動。ジャズのみならず、佐藤竹善、JUJU、小野リサなどの様々なジャンルのサポート、NHKの朝ドラ「カムカムエブリバディ」などの劇番にも多く参加。



好評発売中! EIRD-8003 2,700円(税別)

## 「SPIRIT OF CHICK COREA」スティーヴ・ガッド&ミカ・ストルツマン

チック・コリアのスピリッツを紡ぐ盟友達によるトリビュートアルバムがついに完成!  
スティーヴ・ガッドとミカ・ストルツマンがドリーム・チームと紡ぐ魂のマスターピース。